

明けましておめでとうございます。今年は自動車の自動ブレーキ義務化が始まるかもしれません。いずれは自動運転になっていく流れでしょうか。便利は不便の始まりだといわれますが、便利に慣れてしまった後のことを想像すると、便利にあらがって不便を楽しめるくらいの余裕を持ちたいと思う、令和2年の新春です。

今を生きる 先人の言葉

夢を見るから、
人生は輝く

オーストリアの音楽家であるモーツァルトの言葉。たとえかなわぬ夢であっても、日々の暮らしや気持ちにゆとりがあるからこそ見ることができる。それが夢だ。

ココロとカラダの身だしなみ 大人おしゃれ広場

能の大成者である世阿弥（ぜあみ）は『花鏡』という本の中で「離見の見（りけんのけん）」という言葉を使っています。

役者は舞台上立つ自分の姿を自分で見ることはできないから、常に観客の目の位置に心をおいて己（おのれ）を振り返り、舞を完成させなさい。これが「離見の見」の教えです。第三者の視線で自分を見なさいという意味でしょう。洋服でもアクセサリーでも「私には何が似合うかしら」と悩みながら、いつも似たようなものを選んでしまうことはよくあります。自分が好きなものを身につけるのが一番だと思いますが、人から「似合うね」のひとつを引き出すためには、第三者の視線で自分を客観的に見る「離見の見」の教えが役に立ちそうです。

例えばコンプレックスがあると、そこにばかりに目が行ってしまいます。けれど客観的な視点で自分を冷静に見れば、誰でも良いところ



があります。「好きなもの」と「似合うもの」が同じでないことに気付いてハッとすることもかもしれません。同じ世阿弥の言葉に「秘すれば花」があります。

「観客が予想もしない演出こそが驚きと感動を生む」と世阿弥は言います。時には「自分のイメージを壊してやる」くらいのおしゃれに挑戦してみるのも、新しい自分を知るきっかけになるように思います。「今年はどうな自分に出会えるかな」。そんなワクワクと共に新しい年をスタートさせてみませんか。

今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【国外財産調書制度】

富裕層が海外に有する資産について税務当局が年に一度、調書の提出を義務付けている制度のこと。国外送金等調書法に基づき2014年に導入された。対象となるのはその年の12月31日時点で国外に5000万円を超える財産（預金・不動産など）を持つ日本国内居住者で、当局は入手した情報をもとに申告漏れを見つけて追徴課税を行う。税率が低い租税回避地（タックスヘイブン）などを使った税逃れを防ぐことが目的のひとつ。

1月6日 365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【見えないたすきに込めた思い】

お正月の恒例行事のひとつといえば駅伝でしょう。箱根駅伝を見ないと新年になった気がしないという声をよく聞きます。箱根駅伝誕生のきっかけを作ったのは「マラソンの父」と呼ばれた日本人初のオリンピック・マラソンランナーの金栗四三（かなくりしそう）氏です。1912年、金栗氏はオリンピックのストックホルム大会に参加するも結果は惨敗。日本の陸上競技の遅れを痛感し「日本のマラソンが強くなるためには長距離やマラソン選手を養成することだ」と考え、選手を一度に養成するために思いついたのが「リレー種目」だったそうです。東京高等師範学校の野口源三郎氏、明治大学の学生ランナーの沢田英一氏とともに「将来はアメリカ大陸横断を」という壮大な計画を立て、まず選手の選抜をするために関東の多くの大学と専門学校などに参加を呼びかけて対抗駅伝を行いました。コースは東京から箱根までの往復。1校10人がたすきをつなぎ、2日間に分けて完走を目指す。これが箱根駅伝の原型となり、翌年の1920年2月14日に記念すべき第1回東京箱根間往復大学駅伝競走が開催されたそうです。参加した大学は明治、早稲田、慶應義塾、東京高等師範（現筑波大学）の4校。第1回の復路と総合優勝は東京高等師範学校。往路を制したのは7時間30分36秒の明治大学でした。

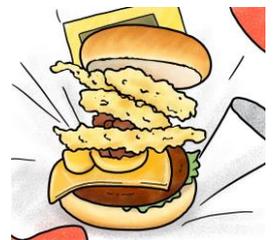


結局、金栗氏たちのアメリカ大陸横断計画は実現しなかったそうです。しかし、マラソン普及に心血を注いだその思いは、箱根駅伝という形で今に受け継がれているのだと思います。金栗氏の情熱。母校の名誉。仲間への感謝。自分へのエール。金栗氏が手渡したたすきに込めた思いは計り知れません。「今までは商売をマラソンに例えていたけど、これからは駅伝でいきたい」と言った知人がいます。
30代で起業して、商売という長い道のりを一人、黙々と走り続けてきた彼は、70歳を目前にした今、これからは次の世代に何を残していけるかを考えて商売をしたいそうです。何をやるかより、どうやるか。思いを込めた見えないたすきを手渡すために残りの人生をかけるそうです。

トレンドを斬る!

くら寿司の意外なメニュー「フィッシュバーガー」が評判です。鮮度が抜群でも寿司ネタには使用できない魚や部位を生かした

パテを、米粉と酢を使った「シャリバンズ」で挟むと濃厚なてりやきソースと玉ねぎの天ぷらが魚の風味を引き立てます。水産資源の有効活用を目的とするプロジェクトで開発した、化学調味料や人工保存料は一切無添加の体にやさしい国産天然魚100%のハンバーガーです。企業として食品ロスや食の安全に真剣に向き合い、具現化した一品です。



トナリの本棚



【クジラアタマの王様】

「菓子里に画びょう混入」というフェイクニュースにクレーム処理担当者として奔走する岸は、騒ぎの中で政治家とアイドルの青年と出会います。現実の世界を救うため、夢の中でチームとして戦うことになる3人。楽しく一気に読める一冊です。

元氣と氣づきを提供する

豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所***

豊島区池袋2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>

mail：info@satousigeru.jp